

『第2次二本松市環境基本計画』並びに  
『二本松市地球温暖化対策実行計画（実行計画）』（案）  
に対する提出のあった意見の要旨及び市の対応について

No.	提出意見の要旨	意見に対する対応
1	<p>(1) P15からの「2. 環境の現状」 「現状」として、放射能の拡散が、本市の環境に与えた影響、及び具体的な放射線量の変化、除染によって除去された木質資源の資源量を、前提として書き留めておくべきだと思う。</p> <p>(2) P20 温室効果ガス排出量 ①市内で使用するハイブリッド車の比率や、市内で販売するガソリンや石油などの総量の経年変化を指標としてはどうか。</p> <p>②二酸化炭素の排出量の推移だけを明記するだけではなく、森林による二酸化炭素の吸収の推移を同時に見ることで、より現実的な温暖化対策問題を考えることができるのではないかと思う。 本市における森林資源の成長量と、主として除染などによる伐採量の変化を記録することで、森林資源によるCO<sub>2</sub>の吸収が、果たしてプラスなのかマイナスなのかを知り、それを今後の森林計画に結びつけることで、温暖化対策を効果的に進めることが可能になると考える。</p> <p>(3) P24 動植物の概況 東日本大震災以後、イノシシは大きな問題になっており、概況として大型野生動物の生息数、獣害の変化、駆除数の変化などは明記すべきではないか。 また、除染によって里山に生息する小型</p>	<p>「2. 環境の現状」の(5)の後に「環境放射線量測定値の推移」を掲載することとしました。 森林除染は、放射性物質の低減を図るため住宅の周囲20m程度における林内の下刈り、有機堆積物の除去、立木の枝打ち等を行ったものです。 なお、森林除染により除去された木質資源の資源量につきましては、把握しておりません。</p> <p>①提案のありましたどちらのデータも持ち合わせておりません。 なお、関連として、本計画「1-2 地球温暖化対策の推進」に「買い替え時には、次世代自動車や省エネルギー型機器の購入・使用に努める」と記載しております。 ご意見は、今後の施策を実行するなかで参考とさせていただきます。</p> <p>②森林資源によるCO<sub>2</sub>の吸収が温暖化対策として重要との認識のもと、本計画「1-2 地球温暖化対策の推進」に記載しております。 ご意見は、今後の施策を実行するなかで参考とさせていただきます。</p> <p>(8) 動植物の概況の最後に「市内における有害鳥獣の状況」を掲載することとしました。 大型野生動物の生息数の推移等につきましては、把握できておりません。</p>

<p>哺乳類や鳥類の環境が大きく変わったことも明記しておくべきではないか。</p> <p>(4) P 5 3 III-1. 生物多様性の保全の中で環境指標としている、森林整備面積5haが、何を意味するのかが分からないので、「生物多様性の保全」という項目の中で、わかりやすく示してほしい。</p> <p>(5) P 5 計画の位置付け・役割        関連する計画や施策を、もう少し詳しく整理し、その関連性をわかりやすく説明すべきでは。</p>	<p>森林除染は、住宅の周辺20m程度の範囲で行われたものであり、里山に生息する小型哺乳類や鳥類の環境が大きく変わったとは考えておりませんが、今後の施策を実行するなかで参考とさせていただきます。</p> <p>なお、鳥獣被害の内容等は、「二本松市鳥獣被害防止計画」に記載・公表しております。</p> <p>人工林の整備につきましても「生物多様性の保全」に配慮した森林整備として、有効であると考えており、この指標は1年間に行った人工林の整備（間伐、更新伐、下刈り、植栽、等）の面積を表しています。</p> <p>そのため環境指標に「主に人工林」と追記し、欄外に注釈として人工林の整備について説明を加えました。</p> <p>本計画は関連する国や県、市の各種計画との整合性を図りながら作成しております。</p> <p>スペースの都合もあり関連する全ての計画を掲載することは難しいため、当該ページでは特に関連が深い計画の一部を記載しております。</p> <p>ただし、ご意見に基づき、関連の深い計画をもう少し追加記載することとしました。</p> <p>本計画の推進にあたりましては、幅広い施策との関連性を常に意識し進めて参ります。</p>
---	--